



伊藤 享佑
市政クラブ

出産・育児について

問 市民病院における里帰り出産の費用と周知方法について伺う。

答 費用は概算で49万円となっている。周知は、関係部署と協議し、総合的な発信に努める。

医療的ケア児の受入体制について

問 本市の現状と保育園入所時の対応は。

答 本市では6人把握しており、入園の場合、訪問看護事業者との看護師派遣の委託契約を締結し、対応していく。

災害発生時の対応について

問 罹災証明書未発行時の仮置場への災害廃棄物搬入はどのようか。

答 住所地が確認できる書面の提示等による受入れを想定している。



市民病院

災害時における海上物資輸送の体制整備

問 海の駅の防災拠点機能の可能性は。

答 平成30年7月豪雨では、広島県呉市にある「くれ海の駅」が小型船舶の輸送拠点として活用された。

問 災害拠点病院化に向けた広域連携における海上輸送機能の重要性への市の考えは。

答 被災地域からの患者受入体制を強化すると共に、三河港蒲郡地区の機能を活用した被災者受入態勢を整備し、東三河南部圏域の災害医療の拠点となる災害拠点病院の指定に向けた準備を進めていく。



大場 康議
自民党市議団

鈴木市長の二期目に向けた挑戦について

問 重要なライフラインの上下水道について、令和4年12月の水道管事故の検証状況は。

答 漏水事故の原因は、管の布設年度が昭和38年と古いことから老朽化によるもの、管が市内の主要道路である市役所通りに埋設されていたことから通行車両も多く、長年の車両荷重の蓄積が想定される。

問 5年度の整備状況として、漏水事故対応を含め南山配水本管の更新事業の進捗状況は。

答 今年度、全体の基本設計業務委託を完了し、10月に基本設計に基づき漏水箇所にあたる管路の詳細設計業務委託を発注した。詳細設計完了後、布設替工事を発注予定である。本事業は当初予定の西

部送水管及び中央配水本管更新事業等に加え、前倒しで行っている。
問 財源として他会計からの繰入金の活用は。

答 水道事業は、独立採算制が原則であるが、計画を前倒しで事業実施していく場合など必要が生じた時は、出資金の受入れも状況に応じて検討していきたい。

問 幹線道路事業促進として、豊岡大塚線の事業再開の検討は。

答 豊岡大塚線は大塚金野線や豊岡大塚線沿線の土地利用の可能性や市全体の事業との整合性等を踏まえた市の交通軸の在り方について、議論していきたい。



2期目の所信表明を行う鈴木市長



新実 祥悟
市政クラブ

第6次財政健全化改革チャレンジ計画

問 市債残高を伺う。

答 令和4年度末において、全会計ベースで約37.2億円である。平成30年度末からは、約46億円減少している。

問 計画の目標を伺う。

答 持続可能な財政運営の確立のため、単年度収支不足の解消、中長期的視点に立ち身の丈に合った財政運営、積極的な財源創出策の推進を目標としている。

蒲郡の教育白書 2023(2025)

問 放課後子ども教室の利用状況を伺う。

答 令和5年度は、11月22日時点で46回を開催し、延べ773名の子どもたちが参加している。5年度は8小学校区で実施しており、6年度には全小学校で

の実施を予定しているため、より多くの子どもたちが参加できる環境が整えられると考えている。

問 本市で取り組んできた35人以下学級について、6年度の状況と今後の見通しを伺う。

答 6年度は、国が小学校5年生まで、県が小学校6年生と中学1年生の35人以下学級の対応をする予定になっており、市は中学2・3年生の対応となる。

以降、国や県の動向を踏まえ、市独自の低学年30人以下学級等、子どもたち一人一人を大切にした教育活動が推進できるよう検討していきたい。



授業風景